

東京工業大学高度人材育成博士フェローシップ募集要項（2021年度春）

1. 趣旨及び対象分野

東京工業大学では、2021年度より新たに、博士後期課程学生を対象とした「東京工業大学高度人材育成博士フェローシップ」制度を創設しました。このフェローシップ制度の目的は、本学が世界の研究を主導するための戦略分野のひとつとして設定した Cyber Physical & Social Systems（以下、CPS²）の概念に基づいて、スマート社会実現のための科学技術イノベーションを創出する博士人材を育成することです。本学のすべての博士後期課程学生を対象とし、スマート社会の創出とその基盤となる CPS²や基礎的科学技術に直接又は間接的に関連のある研究領域から、その研究の将来性も含めて広く評価して、フェローシップ受給学生（以下、フェローシップ学生）を選抜します。フェローシップ学生は経済的支援を受けるとともに、本学に設置される研究力向上やキャリアパス支援に向けての様々な取組に参加する義務を負います。これらの複合的取組によってスマート社会の創出に寄与できる高度人材育成を強力に推進します。

2. 採用予定数

2020年9月又は2021年4月に本学博士後期課程に入学（学内進学を含む。以下同じ）した者 30名

3. 申請資格

申請資格は、以下の4条件をすべて満たしていることです。

1. 2020年9月又は2021年4月に本学博士後期課程に入学した者（※1）
2. 優れた研究能力を有し博士後期課程における研究に専念することを希望する者
3. スマート社会やその基盤となる科学技術の創出に寄与する意志を有する者
4. 日本国内に在住し、申請者名の銀行口座を有していること（※2）

ただし、下記4条件のいずれかに該当する者は申請資格を有しません。

- a) 現在受給しているフェローシップや奨学金等の制度が、他の奨学金の受給を制限している場合（日本学術振興会特別研究員、国費外国人留学生、外国政府派遣留学生奨学金等）
- b) 社会人として所得のある者（正社員として企業に所属している者又は個人で事業を運営し所得を得ている者等）
- c) 東京工業大学基金奨学金又はつばめ博士学生奨学金の給付を受けている者（本フェローシップとの併給はできません。）
- d) フェローシップの支給開始年の2021年4月1日において、原則として30歳以上の者。ただし、出産・育児等ライフイベントを経た者については、個別の事情に応じ、2021年4月1日時点で32歳未満の者までを対象とする。

卓越大学院プログラム又は同等の教育プログラムにおいて経済支援を受けている者（受ける可能性のある者）は、プログラムごとの経済的支援が多様なため、本フェローシップに応募することを妨げません。出願後にフェローシップ委員会（以下、委員会）で応募資格を確認します。

なお、今回の申請で採用されなかった学生は、再度の申請はできません。ただし、今回採用されたフェローシップ学生が標準修業年限中にフェローシップ支給を打ち切られた場合等の欠員分は、その学生と同時期に申請した学生の中から繰り上がりで選考し追加採用します。追加採用された学生は、受給を打ち切られた学生が支援を受ける予定であった残りの期間分の支援を受けます。欠員の追加採用のための再募集は行いません。

4. フェローシップ支給額及び期間

- (1) 支給額 年額 210 万円 (うち研究専念支援金 (※3) : 180 万円, 研究費 (※4) : 30 万円)
(2) 支給期間 標準修業年限の 3 年間 (※5) を最長とし, 博士後期課程在籍中に限り支給する。

ただし, フェローシップのうち研究専念支援金は雑所得と扱われることにご注意ください。所得税と住民税の課税の対象となりますので, 確定申告が必要になります。現在親等の扶養に入っている場合, 「研究専念支援金は税法上雑所得として扱われていること」等を扶養義務者 (親等) にお伝えください。健康保険や扶養手当等における扶養の扱いについては, 扶養義務者 (親等) の職場等の担当者までお問い合わせください。また, 所得税における扶養の扱いについては, お近くの税務署までお問合せください。

5. 申請の手続き

申請手続きは以下の 2 段階で進みます。すべての手続きを完了しなければ受理されません。

①本学 Web フォーム入力	2021 年 5 月 7 日 (金) まで URL : https://forms.gle/t74TtxCxrDwERNcM6
②申請書類等提出 (オンライン提出のみ)	2021 年 5 月 7 日 (金) まで URL : ①で入力完了すると送られる自動返信メールに記載しています。

提出書類は以下の 3 つから構成されます。

1. 東京工業大学高度人材育成博士フェローシップ申請書
2. 研究専念支援金の振込依頼書
(来日できておらず, 口座開設が間に合わない学生はその旨記載すること)
3. 修士課程修了時の成績証明書

上記の書類について指導教員署名をもらった上で, PDF ファイルにして②の URL でアップロードして提出してください。紙書類の提出は不要です。提出書類のファイル名は下記に従って表記してください。例えば学籍番号 21D12345 の氏名東工太郎さんの場合であれば, 次のようになります。

フェローシップ申請書_21D12345_東工太郎.pdf
フェローシップ振込依頼書_21D12345_東工太郎.pdf
修士成績証明書_21D12345_東工太郎.pdf

ただし, 上記のフェローシップ申請書の「応募資格確認欄」における指導教員署名を直接先生からいただくことが難しい場合には, 指導教員から以下のアドレスへのメール連絡をもって代えることができます。その場合は, 申請書の指導教員署名欄は空欄で提出して構いません。指導教員の先生には, 下記のように学生支援課へメールをお送りいただくよう申請者から必ず依頼してください。指導教員から申請書にサインをもらった場合はメール不要です。

<p>◆件名：高度人材育成博士フェローシップ申請の指導教員確認について ◆送信先：高度人材育成博士フェローシップ事務 cps2.f.app@jim.titech.ac.jp ◆本文： 下記の学生について, 高度人材育成博士フェローシップ申請書に記載の通り応募資格を確認しました。 《学籍番号・申請者氏名を記載》 《指導教員氏名を記載》</p>

6. 選考及び結果の開示

- (1) 選考 委員会において一次選考（書面審査）及び二次選考（書面審査と合議審査）により実施
- (2) 結果の開示 選考結果は6月中に学生本人及び指導教員へ通知するとともに、フェローシップに採用された学生の氏名は本学のホームページに公表

7. フェローシップ学生の義務

フェローシップに採用された学生は以下の義務を負います。

1. 研究計画を踏まえた研究活動に専念すること（申請時の研究計画を参考に研究進捗状況を評価する）
2. 本フェローシップの指定する研究会やセミナー等に参加すること（詳細については採用後別途案内する）
3. 博士後期課程対応の「データサイエンス・AI特別専門学修プログラム」を履修すること
4. 本フェローシップが指定するキャリアパス支援の教育プログラムを履修すること（博士インターンシップ科目やキャリア科目等）
5. メンターによる研究支援とキャリアパス支援のための面談を定期的に受けること（アカデミック・アドバイザー教員（指導教員）との面談を定期的（年2回）に実施）
6. 修士課程以下の学生のための研究会やセミナー等を年1回以上開催し発表すること
7. 日本学術振興会（JSPS）の特別研究員（DC2）に応募すること
8. 上記の履行状況を含めた教育及び研究業績を報告書としてまとめ定期的（年2回）に委員会に提出すること

8. 個人情報の取扱い

申請書類に含まれる個人情報については、「国立大学法人東京工業大学個人情報保護規程」に基づき厳重に管理し、本フェローシップの審査にのみ使用します。

9. 問い合わせ先

東京工業大学高度人材育成博士フェローシップ 事務 cps2.f.app@jim.titech.ac.jp

- (※1) 2021年度秋に博士後期課程入学する学生には別途案内を予定しています。
- (※2) 現在、新型コロナウイルス感染症対策で来日できておらず、そのために日本国内の銀行口座を持っていない学生で、5月中の来日と日本国内の銀行口座開設が完了できない場合は、4月分からの採用はされません。ただし、来日や口座開設が完了していなくても、上記のように繰り上がり採用の可能性もありますので、本フェローシップを希望する者は本申請期間に申請をしてください。
- (※3) 研究専念支援金は毎月払いです（ただし2021年春採用者の2021年4-5月分は6月に一括払い予定）。
- (※4) 研究費の使用方法については採用後案内します。
- (※5) 制度上、2020年秋入学者は、支援期間が最長3年間とならず、2021年4月以降で最長2年半分であることにご留意ください。

【その他】

・問合せのあった事項等については、Q&A形式にしてお知らせする予定です。そのURL等は整備次第お知らせします。

以上